

らひふ

松下記念病院

Vol.42

夏号
2018



診療科
見学note 救急診療科

● 医学カンタン講座
胃がん・大腸がん

● ホストピ
ドック健診センター
～健診コースが増えました～

● news
新入職医師紹介

● News Spot
地域包括ケア病棟設置
病院機能評価 認定更新
看護師の新しいユニホーム

2018年4月 救急診療科をスタートしました!

救急診療科って何をするとところ?

救急というと、大災害などで重篤な状態となった患者さまに対して多くのスタッフで救命したり、ヘリコプターなどで現場に向かったりなど、テレビドラマのような場面を想像されることと思います。それらも救急医療ですが、重症でなくても急病やケガをされた患者さまへの応急対応も大事な救急医療です。

前者は高度救命救急センターなどで行う三次救急といわれ、後者は一次～二次救急といわれます。どちらも、苦しむ患者さまに対して、速やかな検査と対処で診断と症状軽減に努めます。

松下記念病院の救急診療科は?

守口・門真地域の中核病院として、地域にお住まいの皆さまが困ったときに応じられるよう、2018年4月から救急診療科をスタートしました。

当院では、平日は2名の救急科専門医が救急車で来院される一次～二次救急の患者さまを対象に診療しています。

どんな病気を診てもらえるの?

当院では、救急車で来院された患者さますべてを対象として救急診療科が対応しています。救急診療科では、内科・外科などに関わらずあらゆる症状の初期対応を行います。発熱、気分が悪い、意識が遠のく、呼吸が苦しい、胸やお腹の痛み、血を吐いた、血の便が出た、めまい、ケガなど、どんな症状でも原因と対処法を考えます。必要な場合には、他の専門診療科と連携して、入院を手配します。



村田 部長
(副院長)

堀

吉川

スタッフ紹介

部長(副院長) 村田 博昭

医長 吉川 陽子
救急科専門医

医長 堀 雅俊
救急科専門医
集中治療専門医
ICLS コースディレクター

救急医療の現状

救急車出動件数(全国)

2016年度、日本全国の救急車の出動件数は約621万件/年でした。約5秒に1回の割合で救急車が出動していることになり、国民の23人に1人が搬送された計算になります。

救急車出動件数(大阪府)

大阪府をとってみても、約54万4千件/年(2014年度)の出動件数があり、約1分に1回の割合で救急車が出動しています。

救急搬送の内訳

救急車の出動件数は20年前の約2倍に増加し、特に65歳以上の高齢者の救急搬送が年々増えて6割近くを占めるようになっていきます。

一方で、救急搬送された方のうち62.5%が入院不要と判断されており、安易な119番通報が問題視されています。

でも、困ったときには救急車を呼んだほうがいいのか迷います。
どうすればよいのでしょうか？



救急車を
呼ぶか
迷ったら

救急車を呼ぶべきかどうかの
参考になるものをお示しします。

救急安心センターおおさか (#7119)

「救急車を呼んだほうがいい?」、「病院に行った方がいい?」、「近くの救急病院はどこ?」、「応急手当の方法は?」など、突然の病気やケガで困ったときに**#7119**または**06-6582-7119**に電話してください。

担当の看護師や相談員が、24時間・365日対応している自治体のサービスです。相談の結果、緊急性がある場合は、直ちに救急車が出動します。

(注意) 医薬品の使用方法、現在かかっている病気の治療方針に関すること、健康相談、介護相談、育児相談などには対応していません。

Q助(全国版救急受診アプリ) [総務省消防庁]

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html

該当する症状を画面上で選択していくと、救急車を呼ぶべきか、自宅で様子を見るべきかなど、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。スマートフォンアプリ版とウェブサイト版があります。

救急受診ガイド [総務省消防庁]

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_guide.html

病院に行った方がいいのか、行くなれば、救急車を呼んだ方がいいか、自分で病院やクリニックを受診した方がいいか、どれくらい急いで受診した方がいいかなど、急な病気やけがをしたときの判断の支援になるガイドです。

胃がん・大腸がん

がんは高齢になるほど発症しやすくなるため、高齢化が進んだ現在、日本人の死因第1位となっています。こわい印象が強い“がん”ですが、早期に発見すれば完治することもめずらしくありません。

	胃がん	大腸がん
どのくらい罹るの?	13万人/年	13万人/年 食生活の変化でここ10年で倍増!
初期症状	胸焼け・腹痛・胃の痛み・上腹部不快感・吐き気・嘔吐・食欲減退・消化不良など 進行すると 体重減少・タール便(黒い粘液性の便)・貧血 など	初期の段階では無症状であることが多い 血便は痔と思い込みがち。注意! 進行すると 血便・下痢や便秘などの便通異常・おなかが張る・便が細くなる など
予防としてできること	<ul style="list-style-type: none"> ●ピロリ菌の除菌 ●禁煙 ●バランスのいい食事(塩分控えめ、野菜・果物をとる) など 	<ul style="list-style-type: none"> ●バランスのいい食事(肉や脂質控えめ、野菜・果物をとる) ●節酒 ●禁煙 ●適度な運動 など
どんな検査でわかる?	<ul style="list-style-type: none"> ●胃部X線検査 ●胃部内視鏡(カメラ)検査 40歳以上の方には年に1回の検診をおすすめしています	<ul style="list-style-type: none"> ●便潜血検査 ●大腸内視鏡(カメラ)検査 ●注腸検査 ●大腸CT検査 40歳以上の方には年に1回の便潜血検査をご案内しています
進行度別5年生存率(%)		
ステージ分類	胃がんのステージ(病期)は、I～IV期に分類されています。ステージはがんが胃壁の中にどの深さまで浸潤しているのか、またリンパ節や他臓器への転移の個数によって総合的に決まります。 胃がんの浸潤は 粘膜・粘膜下層・筋層・漿膜(しょうまく)・漿膜を超えての浸潤の5段階、リンパ節転移は、0個・2個まで・6個まで・15個までの4段階です。	



いつまでも元気でありたいあなたと一緒にいるご家族のために、
年に一度のドック健診は大切なイベントの一つです！

.. 選べる健診が 9 コース

料金(税込)

ドック健診コース 45,000円

レディースコース 59,300円

ドック健診+乳がんセット+経膈超音波+骨密度検査

New

ドック+肺検診コース 61,700円

肺がんが心配な方におすすめのコースです。

New

ドック+胃検診コース 54,100円

胃がんが心配な方におすすめのコースです。

New

シニアコース 69,800円

シニアコース(脳ドック付) 103,000円

ドック健診+胃カメラ+骨密度検査+血管セット+心臓病検査+甲状腺検査

New

ドック+歯科検診コース 48,400円

総合がん健診コース

男性:142,900円

女性:155,200円

ドック健診+肺セット+胃セット+PET/CT+乳がんセット(女性)+経膈超音波(女性)が付いた全身のがんを検査したい方におすすめのコースです。

プレミアムコース

男性:118,500円

女性:130,900円

ドック健診+肺セット+胃セット+血管セット+心臓病検査+甲状腺検査+脳ドック+乳がんセット(女性)+経膈超音波(女性)



プレミアム総合がん健診コース

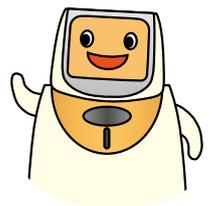
男性:194,600円

女性:207,000円

ドック健診+肺セット+胃セット+骨密度検査+血管セット+心臓病検査+甲状腺検査+脳ドック+PET/CT+乳がんセット(女性)+経膈超音波(女性)

ドック健診コースと一緒に

オプション検査もいかがですか？



..... 追加オプション検査が 21 項目

詳しくはホームページをご覧ください。

松下記念病院

検索

ドック健診の予約

ドック健診予約専用フリーダイヤル

平日 8:30~16:45

0120-130533



ドック健診センターHP
予約画面にアクセス

WEB、お電話、FAX から

ご希望のコース、オプション検査をご予約ください。





新入職の医師紹介

今年度より当院で新しく勤務する先生を紹介します。



救急診療科

きっかわ ようこ
吉川 陽子

救急外来では、緊急性のある患者さまから診て行くため、診察順が前後することがよくあります。また、かかりつけの患者さまであっても、疾患によっては当院で対応できないことがあります但那場合は他病院へ紹介させていただきます。



救急診療科

ほり まさとし
堀 雅俊

救急科として勤務させていただきます。迅速な診断・治療を目指すだけでなく、患者さまのお話十分に耳を傾けられるよう心掛けています。万が一、お困り際にはご相談ください。苦痛を少しでも早く軽減できるよう努めます。



総合診療科

なむら こうすけ
奈村 晃輔

この4月より内科医として当院にて診療に携わらせていただきます。患者さまの目線に立った丁寧な説明を行い安心して医療を受けられる様に、日々努力して参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



糖・内分泌内科

むねかわ
宗川 ちひろ

患者さま一人一人と誠実に向き合い、松下記念病院の一員として皆さまのお役に立てるよう精一杯がんばります。



血液内科

すぎたに みお
杉谷 未央

患者さまと真摯に向かい合い、丁寧に分かりやすい説明を心掛けたいと思います。



血液内科

やまね ゆうすけ
山根 裕介

大阪に住むのは初めてですが、新天地で医療を行うことに高揚しております。地域の患者さまに最適な医療を提供できるように、日々精進いたします。



消化器内科

いけだ かなみ
池田 佳奈美

新しい環境で不慣れな部分もあるかと思いますが患者さまが安心して日々を送れるよう精一杯頑張っていきます。



神経内科

ふじの ゆうぞう
藤野 雄三

脳梗塞、認知症、パーキンソン病など神経疾患を抱える患者さまの生活に丁寧に付き合い、患者さま、ご家族さまが生き生きと過ごせるような診療を心がけたいと思います。真摯に、前向きに、頑張ります。



神経内科

たむら あいこ
田邑 愛子

外来・入院を通じて神経難病や脳卒中をわずらわれた患者さまをサポートし、よりよいQOLを得られるように診療にはげみたいと思います。



外科

まつい ちせ
松井 知世

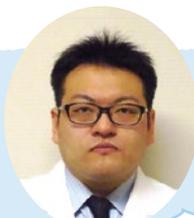
外科(乳腺外科)にてお世話になります。患者さま一人一人と誠実に向き合い、信頼関係を築きながら、診療にあたらせて頂きたいと思っています。



外科

あらかわ ひろし
荒川 宏

京都生まれ京都育ちですが、こちらに来させてもらう前に2年間沖縄にいました。大阪で生活するのは初めてで、同じ関西でも京都と違うところもいっぱいあるだろうし、沖縄で身につけたくせも出てしまうかも知れず、不安はありますが頑張っていきたいと思います。ガッツは人一倍あると自負しています。



小児科

わたなべ ゆきのり
渡辺 幸典

私は大阪の京橋で生まれ育ちました。大学は兵庫県に研修医までおり、医師になって3年目以降は京都で過ごしてきました。今回大阪に戻るにあたり、兵庫、京都で培ってきた経験を生かし、誠意を持って患者さまに向きあい、保護者にも寄り添う医療を提供していきたいと思っています。



小児科

あさづま まさみち
浅妻 正道

地域の子どもたちの健康と成長を保護者の皆さまと一緒に見守り、小児科医としてより良い医療を提供できるよう研鑽を忘れず、診療に従事させていただきたいと思っています。



丁寧な説明を心がけ、患者さまが安心していただける医療を提供できるよう努力してまいります。

産婦人科

つかさき ななみ
塚崎 菜奈美



眼科 部長

みずの れんたろう
水野 連太郎

生まれも育ちも大阪である僕にとっては慣れ親しんだ土地です。患者さまの立場にたって、患者さまにより良い医療を提供できるよう尽力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



患者さまの立場にたった医療を提供できるよう日々精進して参ります。

麻酔科

わたなべ のぶこ
渡部 修子



放射線科

かなやま たいせい
金山 大成

画像診断を中心に質の高い医療を提供できるよう精進して参ります。地域の皆さまの健康維持・増進に貢献できるよう頑張ります。



放射線科

かわかみ きょうへい
河上 享平

放射線科の医師は直接患者さまとお顔をあわせる機会は少ないのですが、主治医の先生方を支援することで間接的に医療に携わります。責任を持って努めさせていただきます。



歯科口腔外科 部長

よしもと ひとし
吉本 仁

歯科口腔外科では一般の歯科医院でおこなわれている歯科治療とは異なり、口腔内や一部の顎顔面領域に発生する疾患を取り扱っています。具体的には顎骨に発生した嚢胞、良性腫瘍や口腔内に発生する癌(舌癌、歯肉癌、口底癌)の治療をおこないます。又、一般の歯科医院では治療が困難な埋伏歯の抜歯や広範囲の炎症、骨折を含む口腔顎顔面の外傷の治療をおこないます。



歯科口腔外科

なかじま あきひろ
中島 章宏

虫歯、入れ歯などの一般歯科治療から、親知らずの抜歯、顎関節症などの口腔外科領域まで、お口の中の悩みに対して患者さまが納得のいく治療を受けていただけるよう努めてまいります。何でもお気軽にご相談ください。

地域包括ケア病棟 設置 (5階東病棟)

病状が安定した患者さまに在宅復帰へ向けた入院加療を行います

一般病棟で治療 (病状安定)



地域包括ケア病棟



在宅復帰の準備
(リハビリ等)

退院



在宅・施設等

対象となる患者さま

- ◆ 継続的な治療や経過観察が必要な方
- ◆ 転院先施設との調整や生活環境や整備が必要な方
- ◆ 継続したリハビリテーションが必要な方

松下記念病院 患者支援連携センター
 平日 8:30~16:45
 (お問い合わせ先) 06-6992-5373

松下記念病院 病院機能評価 認定更新 (3rdG)



「病院機能評価」とは、医療の質や安全の向上を目的として、一定の基準に基づき医療機関を評価し、改善を促す仕組みです。(財)日本医療機能評価機構が実施し、中立・公平な立場にある評価調査者(サーベイヤー)によって行われる、医療機関対象の“第三者評価”です。

当院はこの審査を受け、訪問審査が実施され、2018年2月2日付で認定証が交付(更新)されました。

これからも認定病院として、地域に根ざし、患者さまに安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスの提供をめざして取り組んでいきます。



松下記念病院看護部の ユニホームが4月1日より一新

看護部のユニホームが新しくなりました。スクラブタイプ2種類です。

新しいユニホームは動きやすさを重視し、爽やかさもアップしました。当院にお越しの際にはぜひご注目ください。

